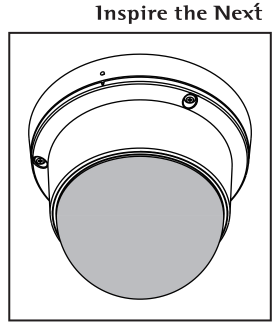
取扱説明書

日立監視用カラービデオカメラ

VK-C979
VK-C959R
VK-C916R

HITACHI
Inspire the Next



このたびは、日立監視用カラービデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

日立監視用カラービデオカメラについてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、お買い上げの販売店がわからない製品の修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120 — 3121 — 68
FAX 0120 — 3121 — 87
（受付時間）9:00 ～ 19:00（月～土）
9:00 ～ 17:30（日・祝日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120 — 3121 — 19
FAX 0120 — 3121 — 34
（受付時間）9:00 ～ 17:30（月～土）
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

- ･お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録 (録音など) させていただくことがあります。
- ･ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- ･出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕　様

形名		VK-C979/C959R/C916R
信号方式		NTSC 方式準拠
撮像素子		1 ／ 4 型 CCD 型固体撮像素子 有効画素数　768（H） x 494（V）画素 VK-C979：全画素読出し VK-C959R/C916R：フィールド周期読出し
走査方式		2：1 インターレース
走査周波数		水平：15,734Hz、垂直：59.94Hz
電源供給方式		定電流重畳方式（別売りカメラ駆動ユニットより供給）
同期方式		電源重畳時 内部 / 外部（V D入力）自動切り換え
映像信号出力		VBS：1.0Vp-p、映像：約 0.7Vp-p 正極性 同期：約 0.3Vp-p 負極性 インピーダンス：75Ω、不平衡
S ／ N 比		50dB 以上
水平解像度		標準 540TV 本（520TV 本以上）
最低被写体照度		標準（全モデル）：1.0 lx（wide 端、AGC:NORM） スローシャッター時（VK-C979 のみ） 0.016 lx（wide 端、AGC：HIGH、スローシャッター：× 32） モノクロ時（VK-C959R のみ）： 0.1 lx（wide 端、AGC：NORM）
画角調整	垂直振り角	約± 50°
	水平振り角	約± 60°
	回転振り角	約± 60°
許容動作温度・湿度		動作維持範囲：-10 ～ 50℃、10 ～ 85% 性能維持範囲：+5 ～ 30℃、45 ～ 75%
消費電流		195mA（電源重畳入力）
外形寸法		直径φ 125mm x 113mm （取付金具および突起部を除く）
質量 (取付金具含まず)		VK-C979/C916R　約 340g VK-C959R　約 360g

- 予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立産業制御ソリューションズ
〒 170 - 8466 東京都豊島区東池袋四丁目 5 番 2 号
ライズアリーナビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QR86075 ©Hitachi Industry & Control Solutions, Ltd. 2015　Printed in Japan 15-03 (I)

安全上のご注意

- **ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
- **お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。**

- 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（*1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害 (*2) を負う可能性が想定される内容および物的損害 (*3) のみの発生が想定される内容を示しています。

*1　重傷 .... 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
*2　傷害 .... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
*3　物的損害........ 家屋･家財および家畜･ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントからはずせ）が描かれています。

⚠警告

異常なときは使わない
- 万一煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源機器（駆動ユニット）の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントからはずしてください。煙が出なくなるのを確認して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない
- 万一水などが内部に入った場合は使用をやめ、電源機器（駆動ユニット）の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントからはずしたあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 水がかかりそうな場所に設置するときは、カメラハウジングなどでカメラを保護してください。カメラ単体で設置して内部に水が入った場合、火災の原因となります。

異物を入れない
- 内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。火災の原因となります。
- 万一異物が内部に入った場合は、電源機器（駆動ユニット）の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントからはずしたあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

落下のおそれのある場所に設置しない
- カメラの重量に耐えられないような、もろい材質が使われている場所に設置しないでください。落下してけがの原因となります。

指定外の電源機器を使わない
- 指定外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。必ず指定の電源機器（駆動ユニット）をお使いください。

引火性ガスが発生する場所に設置しない
- 引火性ガスが発生する場所に設置すると、発火の原因となります。

分解・改造しない
- 分解・改造しないでください。火災の原因となります。

風呂場では使用しない
- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

カメラを落とさない
- カメラを落としたときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合がありますので、電源機器（駆動ユニット）の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントからはずしたあと、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所に設置しない
- 火災の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たる場所に設置しない
- 調理台や加湿器のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。

ケースを開けない
- ケースを開けないでください。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

移動させるときは注意して
- 移動させるときは、接続コードを抜いたことを確認のうえ、移動してください。つながったまま移動させると、接続コードが傷つき、火災の原因となることがあります。

放熱を妨げない
- 内部に熱がこもると、火災の原因となることがあります。本体には貼着テープなどを貼り付けないでください。

接続コードを傷つけない
- 接続コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災の原因となることがあります。
- 接続コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重いものをのせて接続コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災の原因となることがあります。

接続コードが傷んだら交換する
- 接続コードの芯線が露出したり、断線したときは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

接続コードを熱器具に近付けない
- コードの被覆が溶けて、火災の原因となることがあります。

ぬれた手でプラグを抜き差ししない
- 感電の原因となることがあります。

お手入れするときは電源をはずす
- 安全のため、電源機器（駆動ユニット）の電源プラグをコンセントからはずしてお手入れしてください。

長期間ご使用にならないときは電源をはずす
- 安全のため、必ず電源機器（駆動ユニット）の電源プラグをコンセントからはずしてください。

保守点検について
- 保守点検を販売店にご相談ください。機器内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店にご相談ください。

使用上のご注意 (1/2)

設置上のご注意
次のような場所には設置しないでください。

強い電波や磁気のあるところ
電波塔の近くやモーターを使った電気製品のそばなど、強い電波や磁気の発生するところで使用すると、画像がゆがんだりすることがあります。

極端に高温や低温のところ
許容動作温度（❶ページ）範囲外のところでは使用しないでください。
画質の低下や故障の原因になります。

使用上のご注意 (2/2)

衝撃を与えない
ぶつけたり、落としたりすると故障の原因になります。

太陽や強い光（スポットライト）へ向けたままにしない
- 太陽光やスポットライト光を長期間撮影することにより、撮像素子内部のフィルターが劣化し、光があたっていたところが変色（焼付き）することがあります。固定していたカメラの向きを変えたときなどに目立つことがあります。
- 画面の一部に周囲より極端に明るい部分があるとスミア (*1) やブルーミング (*2) を生じることがあります。
  *1: 極端に明るい部分の上下に縦線が生じる現象です。
  *2: 極端に明るい部分の周囲がにじむ現象です。

シャッタースピードについて
記録した映像を再生したとき、動いている被写体がブレてしまうときは、シャッタースピードが速くなるように設定してください。
工場出荷時は、1/60 秒に設定されていますので、1/60 ～ 1/100 秒程度に設定してください。
ただし、シャッタースピードを速く設定すると画面が暗くなり、スミアやフリッカー (画面がちらつく現象) が強調されやすくなります。必ず、再生画面を確認しながらシャッタースピードを設定してください。

接続機器の取り扱いについて
本機につなげてお使いになる機器の取扱説明書と、その「注意事項」もよくお読みください。

お手入れについて
ドームカバーの表面にほこりや汚れなどがつくと映像がきれいに映りません。ほこりや汚れなどがついた場合は、やわらかい布などを使って軽くふきとってください。
— お願い —
- ドームカバーをふくときは強くこすらないでください。キズが生じることがあります。
- ドームカバーをベンジンやシンナーなどでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ケースやドームカバーに殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってご使用ください。

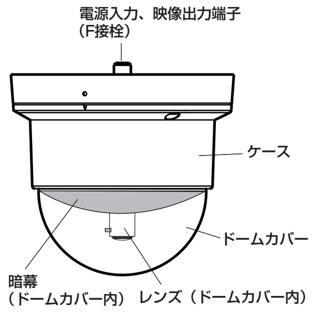
外国では使わない
このカメラは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
<This video camera cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

日立監視用カラービデオカメラの故障もしくは不具合により発生した付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

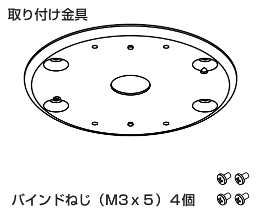
個人情報の保護について
本機を用いたシステムで撮影・記録された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」(*1) に該当します。
映像情報は、法律にしたがって適正にお取り扱いください。

*1：経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」をご覧ください。

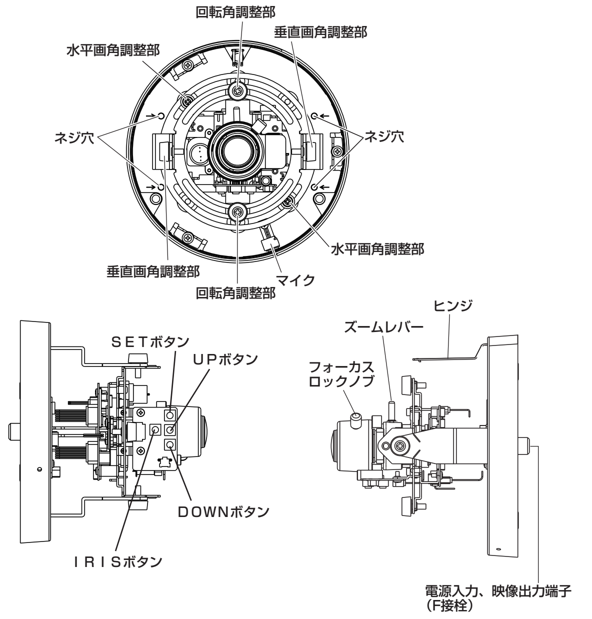
各部のなまえ



付属品をご確認ください



暗幕、ドームカバー、ケースを外した状態



接続から調節までの手順

下記の手順に従って、カメラを接続・調節してください。

ご注意
- カメラの据え付け、接続は必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
  ご自分での据え付け、接続は事故や故障の原因になります。

カメラを据え付ける　❹

↓

カメラ駆動ユニットなどと接続する　❹

↓

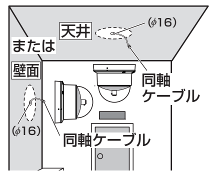
次の調節は必要に応じて行います。

- ・自然な色調に調整する　❻
- ・色調を変えて撮る　❻
- ・色の濃さ、輪郭などを設定する　❼
- ・シャッタースピードを変えて撮る　❼
- ・明るさを変えて撮る　❼
- ・被写体を見やすく補正して撮る　❽
- ・逆光を補正して撮る　❽
- ・コントラストの変動を抑えて撮る　❾
- ・暗い被写体を鮮明に撮る　❾
- ・映像のランダムノイズを抑えて撮る　❾
- ・プライバシーマスクを設定する　❿
- ・画面にタイトルを付ける　❿
- ・音声を取り込む　⓫
- ・カメラの故障検知機能を使う　⓫
- ・映像出力方式を変更する　⓫
- ・初期値に戻す　⓫

設置のしかた

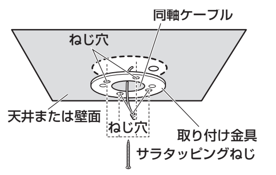
① **カメラを設置する場所を決める**

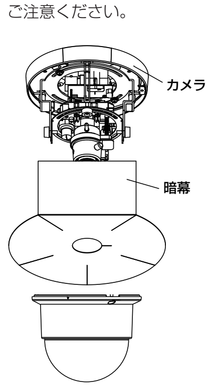
② **同軸ケーブルをカメラ設置場所まで配線する**
- 設置場所に約φ16 の同軸ケーブル通線穴をあけてください。



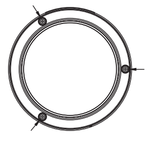
③ **取り付け金具を取り付ける**
1. 同軸ケーブルを取り付け金具の穴に通す。
2. 市販のサラタッピングねじ（M4 × 30）で取り付け金具を固定する。（4 か所）
   - 落下防止のため、ねじは確実にしめてください。
   - カメラを取り付ける取付ネジ 4 本（M4）は取付場所の材質に合わせてご用意ください。

ご注意
- ねじをしめるときは、同軸ケーブルを傷つけないよう、ご注意ください。

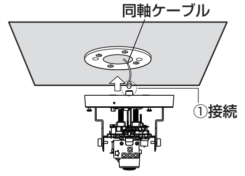


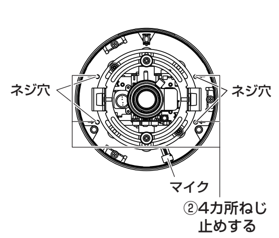


④ **ドームカバーをはずす**
1. ケースを固定しているねじ（3 か所）をゆるめる。
2. ドームカバーをはずす。



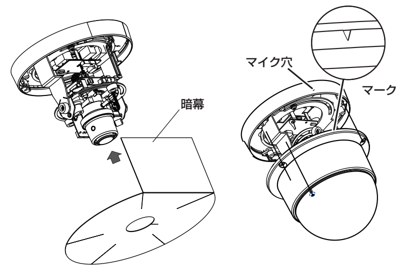
⑤ **カメラを固定する**
1. 同軸ケーブルをカメラに接続する。





2. バインドねじ（M3 × 5）でカメラを取り付け金具に固定する。（4 か所）
   - ねじをしめるときは、内部配線を傷つけないよう注意してください。
   - 落下防止のため、ねじは確実にしめてください。

⑥ **ドームカバーを固定する**
1. 暗幕をかぶせる。
   - レンズツバの奥まで入れてください。
2. ドームカバーを取り付ける。
   - マイク穴とマークを合わせてケースをかぶせてください。
3. ねじで固定する。



ケース取り付けのご注意
- 暗幕でマイク部をふさがないでください。
- 暗幕や線材がケースにかみこまないようにして取り付けてください。
- 取り付け後、浮きなどがないようにケースを取り付けてください。
- ケース内にゴミや汚れが無いのを確認し、あれば取り除いてください。
- ヒンジは強く引っ張らないでください。破損する恐れがあります。

接続のしかた

本機は映像を出力する端子から電源をとり込む方式（電源重畳方式）を採用しておりますので、次の当社製の別売品と接続してご使用ください。

カメラ駆動ユニット　VK-AC110
- カメラを 1 台、接続できます。

カメラ駆動ユニット　VK-AC555R/AC960/AC955
- VK-AC555R をご使用になる場合は 5 台、VK-AC960/AC955 をご使用になる場合は 9 台のカメラを接続することができます。

接続するときは、カメラ駆動ユニットの電源を切ってください。

※ 各機器の取扱説明書もよくお読みください。

遠隔操作で本機の設定を変える

本機をカメラ駆動ユニット（VK-AC555R/AC960/AC955）と組み合わせてご使用になる場合のみ、遠隔操作で本機の設定を変えることができます。

※ カメラのメニュー画面を消したいときは、カメラ側のメニュー画面（「END」を点滅）にて終了してください。

※ カメラ駆動ユニットの取扱説明書もよくお読みください。

ピントを合わせる

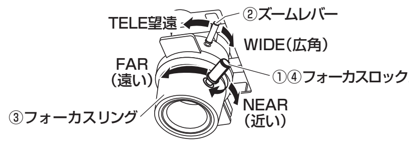
カメラ駆動ユニットの電源を入れ、ピントを合わせます。

① **フォーカスロックノブを左方向に回してフォーカスロックを解除する**

② **カラーモニターを見ながら、ズームレバーを回して画角を合わせる**
- ズームレバーを左方向に回してロックを解除してください。
- 映像は 2.7 倍まで拡大することができます。

③ **フォーカスリングを回して、ピントを合わせる**

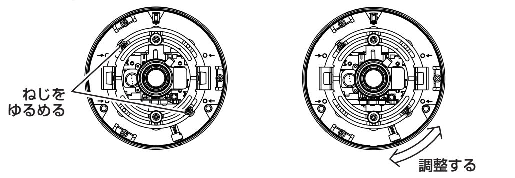
④ **フォーカスロックノブを右方向に回してフォーカスリングをロックする**



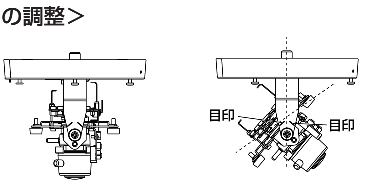
画角を調整する

被写体がカラーモニターの中央にくるように調整します。

<水平画角の調整>

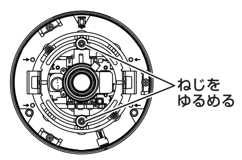


<垂直画角の調整>



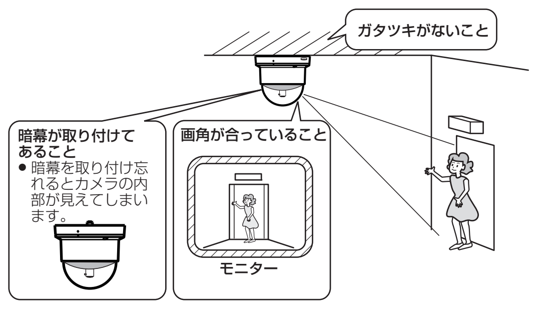
<回転角の調整>

壁面設置で被写体が斜めに映る場合は、レンズを回転して調整します。



- 画角を調整するときは、内部の配線がからまないよう注意してください。配線を強く引っ張るとコネクタが抜け、故障の原因となります。
- 垂直画角の調節は、目印までにしてください。
  それ以上動かす場合は、配線が絡んで断線したり、故障の原因となることがあります。
- 調整後は、被写体が正しく映っていることを確認し、ねじをしめてください。
- 画角を調整するときにドライバを使用する場合は、ドライバが基板や電気部品に接触しないように注意してください。接触すると回路が短絡して故障の原因となります。

設置後の確認


ガタツキがないこと
暗幕が取り付けてあること
画角が合っていること
モニター

- 暗幕を取り付け忘れるとカメラの内部が見えてしまいます。

ピント調整時の補助機能を使う　979、959R、916R

① **ドームカバー内の [IRIS] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押す。**
「FOCUS SETTING MODE」画面が表示されます。
レンズの絞り（アイリス）は開放になります。
このモードは 120 秒経つと自動的に解除されます。
OSD 上でも 120 秒から 0 秒へカウントしていきます。

```
      FOCUS SETTING MODE
IRIS OPEN TIME :120SEC




FOCUS BAROMETER MAX: zzz
                NOW: yyy
```

② **ピントを合わせた後、[IRIS] ボタンを押す。**
「FOCUS SETTING MODE」が終了します。
120 秒経過していなくても、絞り開放状態は解除されます。

※ 絞り開放機能について
ピント調整はレンズの絞り量による影響をできるだけ受けない状況で行われることが望ましいため、「FOCUS SETTING MODE」では絞りを自動的に開放にします。ピント調整を行う際に、絞りを開放にした状態を保持したい場合にお使いください。
調整終了後に被写体の明るさの変化によって絞りが変化してもピントがズレることをできるだけ軽減するための補助的な機能です。

※ フォーカスバロメーターについて
「FOCUS BAROMETER」の値は、現在のレンズ位置でのピント状態を示す目安として表示するものです。「FOCUS BAROMETER MAX」の値は、そのときの被写体に対しピントが合うであろうと思われる目安として表示しています。
その値に、「FOCUS BAROMETER NOW」の値を近づけるようにお使いください。
「FOCUS BAROMETER MAX」の値は、一度 TELE（望遠）から WIDE（広角）にゆっくりと動かして、レンズ調整範囲内の最大値が表示されるようにしてください。
また、被写体の変動などにより値は変化することがあります。その場合は、「FOCUS BAROMETER NOW」の表示の最大値が、「FOCUS BAROMETER MAX」の値に到達しないこともあります。
以上のように、設置環境、照明環境等により正しく表示されない場合もありますので、「FOCUS BAROMETER」の値はあくまで参考値として必要に応じてお使いください。

ご注意
- 実際にピントが正しくあっているかどうかの最終確認は、必ず映像を見てご判断ください。
- 本機能動作中は、[SET] および [UP/DOWN] ボタンは受け付けません。
- この操作はカメラ駆動ユニットから遠隔操作はできません。

モデルごとの MENU 画面表示　979、959R、916R

本取扱説明書では、もっとも機能の多い VK-C979 の「MENU」画面を使って説明しています。

■ MENU 画面を表示する
[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押します。

■ MENU 画面を終了する
「MENU」画面表示中に、[UP/DOWN] ボタンで「END」を点滅させたあと、[SET] ボタンを押して終了します。

< VK- C979 >

```
             MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

ご注意
- 「MENU」画面終了で、設定が確定します。設定の途中で電源の入 / 切が発生した場合には、設定内容は保存されません。

< VK- C959R >

```
             MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.NIGHT MODE     :AUTO
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.PRIVACY MASK   :OFF
8.OTHERS         :PUSH SET

 END
```

< VK- C916R >

```
             MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.ALC LEVEL      :PUSH SET
6.PRIVACY MASK   :OFF
7.OTHERS         :PUSH SET

 END
```

自然な色調に調整する　979、959R、916R

被写体を照らす光源に応じて、色調を自動的に調整します。通常は「AUTO-NORM」に設定することをおすすめします。
通常使用する「AUTO-NORM」のほかに、光源が水銀灯の場合には「AUTO-HG」、光源がナトリウムランプの場合には「AUTO-NA」に設定できます。
「AUTO-NORM」では、引き込み範囲の狭い「NARROW」
標準的な「NORM」、範囲の広い「WIDE」を設定することができます。
また、「AUTO-NORM」では、光源の色に合わせて色味を変更することができます。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して、「MENU」画面の「2」を点滅させる。**

```
             MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

② **[SET] ボタンを押して、「AUTO-NORM」を表示させる。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

AUTO-NORM（初期値）→ AUTO-HG → AUTO-NA → MANUAL → AUTO-NORM（初期値）

③ **「AUTO-NORM」の表示中に、[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「AUTO WHITE BALANCE」画面を表示させる。**

```
   AUTO WHITE BALANCE
1.RANGE          :NORM
2.RED-BLUE       :PUSH SET
                  R----+----B



RETURN
```

【引き込み範囲の設定をするとき】
「AUTO WHITE BALANCE」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定値を変更する。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

NARROW → NORM（初期値）→ WIDE → NARROW

【光源の色に合わせて色味を変更するとき】
「AUTO WHITE BALANCE」画面の「2」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、数値レベルを表示させる。
[UP/DOWN] ボタンを押して、設定値を変更する。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

```
   AUTO WHITE BALANCE
1.RANGE          :NORM
2.RED-BLUE       :08
                  R----+----B
```

```
   AUTO WHITE BALANCE
1.RANGE          :NORM
2.RED-BLUE       :11
                  R------+--B
```

01 ⇔ … ⇔ 08（初期値）⇔ … ⇔ 15

※ 設定値を変更すると、目盛りの位置が変わります。
※「PIC ARRANGE」設定（❼ページ）をすると、「RED-BLUE」で設定した値がクリアされ、「PIC ARRANGE」設定で決めた値に変わります。

ご注意
- 複数の異なる光源や、赤色単一色光源、青色単一色光源などの特殊光源を使用している場合は自動調整が効きにくくなることがあります。
- 初期値（工場出荷時）にて使用時、ナトリウムランプの光源下では黄色っぽい映像になります。その場合は、「AUTO-NA」に設定することで改善できます。

色調を変えて撮る　979、959R、916R

マニュアル操作に設定すると、色調を好みに応じて、R（赤）方向、B（青）方向に調整することができます。
「ONE PUSH AUTO」は、現在の光源の色温度に合わせて自動調整したあと、マニュアル設定に切り換わる機能で、その後自動調整は働きません。
通常は「AUTO-NORM」状態でご使用になることをおすすめします。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して、「MENU」画面の「2」を点滅させる。**

```
             MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:MANUAL
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

② **[SET] ボタンを押して、「MANUAL」を表示させる。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

AUTO-NORM（初期値）→ AUTO-HG → AUTO-NA → MANUAL → AUTO-NORM（初期値）

③ **[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「MANUAL WHITE BALANCE」画面を表示させる。**

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
2.B-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
3.ONE PUSH AUTO:PUSH SET



RETURN
```

【R（赤）方向に調整したいとき】
「MANUAL WHITE BALANCE」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押します。
数値レベルが表示されるので、[UP/DOWN] ボタンを押して設定値を変更することができます。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :128
                  L----+----H
```

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :165
                  L------+--H
```

000 ⇔ … ⇔ 128（初期値）⇔ … ⇔ 255

※ 設定値を変更すると、目盛りの位置が変わります。

【B（青）方向に調整したいとき】
「MANUAL WHITE BALANCE」画面の「2」が点滅している状態で [SET] ボタンを押します。
数値レベルが表示されるので、[UP/DOWN] ボタンを押して設定値を変更することができます。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
2.B-GAIN         :128
                  L----+----H
```

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
2.B-GAIN         :165
                  L------+--H
```

000 ⇔ … ⇔ 128（初期値）⇔ … ⇔ 255

※ 設定値を変更すると、目盛りの位置が変わります。

【自動調整するとき（ONE PUSH AUTO)】
白い被写体を画面いっぱいに写してください。
「MANUAL WHITE BALANCE」画面の「3」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定を「SETTING」に変更します。
5 秒間自動調整を行います。終了すると、再び「PUSH SET」と表示されます。

```
  MANUAL WHITE BALANCE
1.R-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
2.B-GAIN         :PUSH SET
                  L----+----H
3.ONE PUSH AUTO:SETTING



RETURN
```

ご注意
- 「ONE PUSH AUTO」を用いて調整する際は、白い被写体を照明で明るくしてください。
- 芝生のような緑一色の被写体を画面の大部分に映したとき、緑の色が抜けてグレーになる場合があります。その場合は、緑色の面積を画面の半分以下になるよう画角を調整するか、マニュアル操作の調整で改善できます。R-GAIN を増やす方向 / B-GAIN を減らす方向に調整してください。その際、被写体の白い部分が白になるように調整してください。
  なお、マニュアル操作はそこに設置されている照明が白色照明である場合のみ有効です。

色の濃さ、輪郭などを設定する　979、959R、916R

① **「MENU」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、「PICTURE CONTROL」画面を表示させる。**

② **[UP/DOWN] ボタンを押して、設定したい項目の番号を点滅させる。**

③ **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

1 → … → 5（初期値）→ … → 9

※ 設定値を変えると、目盛りの位置が変わります。

```
      PICTURE CONTROL
1.COLOR LEVEL   :L--+--H  5
2.H-ENHANCER    :L--+--H  5
3.V-ENHANCER    :L--+--H  5
4.PEDESTAL      :L--+--H  5
5.VIDEO LEVEL   :L--+--H  5
6.PIC ARRANGE   :NATURAL


 RETURN
```

＜4. PEDESTAL の設定値を変更したとき＞

```
      PICTURE CONTROL
1.COLOR LEVEL   :L--+--H  5
2.H-ENHANCER    :L--+--H  5
3.V-ENHANCER    :L--+--H  5
4.PEDESTAL      :L---+-H  7
```

各項目では、下記の設定ができます。
1.「COLOR LEVEL」
色の濃さを調整できます。
2.「H-ENHANCER」
水平方向の輪郭を調整できます。
3.「V-ENHANCER」
垂直方向の輪郭を調整できます。
4.「PEDESTAL」
映像信号の基準レベルを調整できます。
5.「VIDEO LEVEL」
映像信号の出力レベルを調整できます。
6.「PIC ARRANGE」：好みの色合いを選択することができます。
- NATURAL（初期値）：自然でそのままの映像が表示されます。
- VIVID：鮮明で、くっきりとした映像が表示されます。

設定値 設定項目	1	5	9
COLOR LEVEL	淡い	初期値	濃い
H-ENHANCER	弱い	初期値	強い
V-ENHANCER	弱い	初期値	強い
PEDESTAL	低い	初期値	高い
VIDEO LEVEL	狭い	初期値	広い

＜便利な使い方＞
ご使用のモニターなど接続機器の影響で画面が暗く感じる場合などに「PEDESTAL」の設定を高くすると、画面全体が明るくなる効果があります。
「PEDESTAL」を変更すると、被写体によっては明るい部分がさらに明るくなりすぎて見づらくなる場合があります。その場合は、「VIDEO LEVEL」を狭く設定することにより、明るい部分が見づらくなることを抑えることができます。

シャッタースピードを変えて撮る　979、959R、916R

動きの遅いものの撮影には遅めのシャッタースピード（1/60 等）に、動きの早いものの撮影には早めのシャッタースピード（1/10000 等）に設定すると効果的です。「AE」に設定すると、電子シャッターで自動的に光量を調節できます。シャッタースピードを早くすればするほど画面が暗くなるため、照明が不足しないように注意してください。
また、蛍光灯照明下など、フリッカー（画面がちらつく現象）やスミア（画面の明るい部分から縦線が出る現象）などが強調されやすい場合は、シャッタースピードを遅くしてください。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「4」を点滅させる。**

② **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

1/60（初期値）→ 1/100 → 1/250 → 1/500 → 1/1000
AE ← 1/30000 ← 1/10000 ← 1/4000 ← 1/2000

■明るさの目安
より良い画像を得るためには、被写体の明るさが適切でなくてはなりません。下の表は明るさの目安です。暗いところで撮るときは、画質が粗くなりますので照明が必要です。

lx		
10–	• ロウソクの明るさ〔20cm 離れた所〕（10 ～ 15）	
100–	• 30W 蛍光灯× 2 照明 8 畳間（300） • 蛍光照明の学習机（400） • ボウリング場（500）	• 地下鉄ホーム（300） • 衣料品店店内（400 ～ 500） • 地下鉄車内（500）
1,000–	• 曇天日没 1 時間後太陽光（1,000） • 晴天日没 1 時間前太陽光（2,000）	• パチンコ店（1,000） • 蛍光照明窓際の事務所(1,000)
10,000–	• 曇天午前 10 時太陽光(25,000) • 曇天昼太陽光（32,000） • 晴天午前 10 時太陽光(65,000)	
100,000–	• 晴天昼太陽光（100,000）	

明るさを変えて撮る　979、959R、916R

撮影の際、明るさを変えたいときにお使いください。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「6」（VK-C916R は「5」）を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「AUTO LEVEL CONTROL」画面を表示させる。**

```
    AUTO LEVEL CONTROL
1.PRESET          :ON

2.WDR             :OFF





 RETURN
```

② **「AUTO LEVEL CONTROL」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

ON（初期値）→ OFF

③ **設定項目が「OFF」の状態で [SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「ALC LEVEL」画面を表示させる。**

```
           ALC LEVEL
1.LEVEL           :PUSH SET
                  L----+----H





 RETURN
```

④ **「ALC LEVEL」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、数値レベルを表示させる。**
[UP/DOWN] ボタンを押して、設定値を変更します。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

000 ⇔ … ⇔ 128（初期値）⇔ … ⇔ 255

```
           ALC LEVEL
1.LEVEL           :128
                  L----+----H





 RETURN
```

```
           ALC LEVEL
1.LEVEL           :165
                  L------+--H
```

※ 設定値を変更すると、目盛りの位置が変わります。

被写体を見やすく補正して撮る　979

コントラストの差が大きい被写体を撮る場合、一部が暗すぎたり明るすぎたりしないように明るさを補正することができます。
「NORM」は明るすぎないように補正し、「BACK-LIGHT」は暗すぎないように補正するときに使います。
また、以下の項目はマニュアルで設定できます。
-「H-SHUTTER」（明るい部分の調整）
-「IRIS OFFSET」（画面全体の明るさを調整）
-「RATIO」（明るい部分と暗い部分のバランスを調整）

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「6」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「AUTO LEVEL CONTROL」画面を表示させる。**

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「AUTO LEVEL CONTROL」画面の「2」を点滅させてから [SET] ボタンを押す。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ NORM → BACK-LIGHT → MANUAL

```
    AUTO LEVEL CONTROL
1.PRESET          :ON

2.WDR             :MANUAL





 RETURN
```

③ **マニュアル操作をする場合は「2.WDR」を「MANUAL」に設定した後、[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押して「MANUAL WDR」画面を表示させる。**

```
          MANUAL WDR
1.H-SHUTTER      :PUSH SET
                 L----+----H
2.IRIS OFFSET    :PUSH SET
                 L----+----H
3.RATIO          :PUSH SET
                 L----+----H


 RETURN
```

【H-SHUTTER の設定を変えるとき】
④ **[UP/DOWN] ボタンを押して「MANUAL WDR」画面の「1」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、数値レベルを表示させる。**
[UP/DOWN] ボタンを押して、設定値を変更します。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

000 ⇔ … ⇔ 064（初期値）⇔ … ⇔ 127

```
          MANUAL WDR
1.H-SHUTTER      : 082
                 L-----+---H
2.IRIS OFFSET    :PUSH SET
                 L----+----H
3.RATIO          :PUSH SET
                 L----+----H


 RETURN
```

【IRIS OFFSET の設定を変えるとき】
⑤ **[UP/DOWN] ボタンを押して「MANUAL WDR」画面の「2」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、数値レベルを表示させる。**
[UP/DOWN] ボタンを押して、設定値を変更します。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

000 ⇔ … ⇔ 128（初期値）⇔ … ⇔ 255

```
          MANUAL WDR
1.H-SHUTTER      :PUSH SET
                 L----+----H
2.IRIS OFFSET    :165
                 L-----+---H
3.RATIO          :PUSH SET
                 L----+----H


 RETURN
```

【RATIO の設定を変えるとき】
⑥ **[UP/DOWN] ボタンを押して「MANUAL WDR」画面の「3」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、数値レベルを表示させる。**
[UP/DOWN] ボタンを押して、設定値を変更します。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

000 ⇔ … ⇔ 050（初期値）⇔ … ⇔ 100

```
          MANUAL WDR
1.H-SHUTTER      :PUSH SET
                 L----+----H
2.IRIS OFFSET    :PUSH SET
                 L----+----H
3.RATIO          : 052
                 L----+----H


 RETURN
```

※ H-SHUTTER、IRIS OFFSET、RATIO の変更内容は、設定中は数値と目盛りの両方が表示されますが、[SET] ボタンを押して設定を終了すると、目盛り表示のみが表示されます。
数値は表示されません。

逆光を補正して撮る　959R、916R

背景にスポットライトなどの強い照明があっても、被写体が暗くならないように明るさを補正（逆光補正）することができます。
逆光補正できる範囲は、最大 6 箇所まで設定できます。

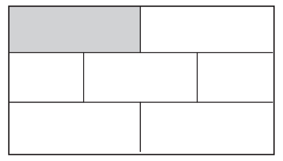
① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「6」（VK-C916R は「5」）を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「AUTO LEVEL CONTROL」画面を表示させる。**

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「AUTO LEVEL CONTROL」画面の「2」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「ON」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

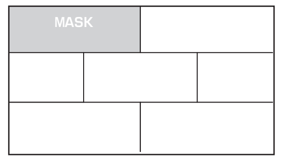
```
    AUTO LEVEL CONTROL
1.PRESET          :ON

2.BLC             :OFF




 RETURN
```

OFF（初期値）→ ON

③ **設定項目が「ON」の状態で、[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、逆光補正位置設定画面を表示させる。このとき、現在の設定位置が点滅表示されます。**

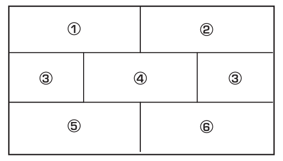


この状態で、[SET] ボタンを押すと逆光補正 ON を示す「MASK」という文字が画面に抜き文字で表示されます。



また、[UP/DOWN] ボタンを押すと逆光補正位置表示の位置が変わります。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

①（初期値）⇔ ② ⇔ ③ ⇔ ④ ⇔ ⑤ ⇔ ⑥



④ **設定が完了したら、[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押すと「AUTO LEVEL CONTROL」画面に戻ります。**
※ 設定位置がどの場所でも戻ることができます。

コントラストの変動を抑えて撮る　979、959R、916R

被写体の明るさに応じてカメラの利得を自動的に調整し、コントラストの変動を少なくします。
屋外など、明るさが変化する環境において効果を発揮します。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「3」を点滅させる。**

② **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

LOW → NORM（初期値）→ HIGH

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

※ 暗いところでノイズが気になるようでしたら「LOW」、明るさをアップさせる場合には「HIGH」をお使いください。

暗い被写体を鮮明に撮る　979

被写体が極端に暗くなると、AGC 動作だけでは見えにくくなります。このようなときに、電子的に感度をアップさせて映像感度を上げ、被写体を鮮明に撮ることができます。（スローシャッター動作）

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「5」を点滅させる。**

② **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

x1（初期値）→ x2 → x4 → x8 → x16 → x32

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

ご注意
- シャッタースピード「1/60」、「1/100」、「AE」設定のときのみ動作します。
- 感度を高くした状態で、動きの早い被写体を撮った場合、動きが多少不自然に見えることがありますが、故障ではありません。

暗い被写体を鮮明に撮る　959R

被写体が極端に暗くなると、AGC 動作だけでは見えにくくなります。このようなときに、白黒映像に切り換えて映像感度を上げると被写体を鮮明に撮ることができます。また、「MONO」（常時白黒）や「COLOR」（常時カラー）も選択できます。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「5」を点滅させる。**

② **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

AUTO（初期値）→ MONO → COLOR

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.NIGHT MODE     :AUTO
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.PRIVACY MASK   :OFF
8.OTHERS         :PUSH SET

 END
```

③ **「AUTO」に設定した後、[SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「NIGHT MODE」画面を表示させる。**

```
         NIGHT MODE
1.SENSE LEVEL   :NORM

2.INTERVAL TIME:10SEC




 RETURN
```

④ **「NIGHT MODE」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定値を変更する。**
カラーモードから白黒モードへの切り換えやすさを調整します。
「LOW」　切り換わりにくい
「HIGH」　切り換わりやすい
ボタンを 1 回押すごとにモードが切り換わります。

LOW → NORM（初期値）→ HIGH

⑤ **[UP/DOWN] ボタンを押して「NIGHT MODE」画面の「2」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、設定値を変更する。**
モードを切り換えてから、次に切り換えるまでの最短時間を調整します。
ボタンを 1 回押すごとにモードが切り換わります。

10SEC（初期値）→ 30SEC → 1MIN

※ カラーモード⟷白黒モードの切り換えのときに、映像が一瞬変化する場合がありますが、故障ではありません。

映像のランダムノイズを抑えて撮る　979

被写体が暗い状態で AGC や電子感度アップなどで明るさを増幅させると映像にノイズが増えてしまうことを、低減することができます。
また、明るい被写体の、画面の低周波ノイズを軽減することができます。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「7」を点滅させる。**

② **[SET] ボタンを押して、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ LOW → MID → HIGH

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHERS         :PUSH SET
 END
```

ご注意
- DNR 設定を行った状態で、動きの早い被写体を撮った場合、動きが多少不自然に見えることがありますが、故障ではありません。

プライバシーマスクを設定する　979、959R、916R

プライバシー保護やその他の目的で、見られたくない画像領域に最大 8 箇所マスクをかけることができます。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「8」を点滅させる。（VK-C959R は「7」、VK-C916R は「6」）**

② **[SET] ボタンを押して、「ON」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ ON

```
           MENU
1.PIC CONTROL    :PUSH SET
2.WHITE BALANCE:AUTO-NORM
3.AGC GAIN       :NORM
4.SHUTTER        :1/60
5.SENSITIVITY    :× 1
6.ALC LEVEL      :PUSH SET
7.DNR            :OFF
8.PRIVACY MASK   :OFF
9.OTHEPS         :PUSH SET
 END
```

③ **設定項目が「ON」の状態で [SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「PRIVACY MASK」画面を表示させる。**

```
        PRIVACY MASK

1.MASK ID        :1
2.MASK ON/OFF    :OFF
   LEFT          :00
   RIGHT         :23
   TOP           :00
   BOTTOM        :29


 RETURN
```

④ **「PRIVACY MASK」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定するマスクを選択する。**
ボタンを 1 回押すごとに、設定値が切り換わります。

1（初期値）→ … → 8

⑤ **[UP/DOWN] ボタンを押して「PRIVACY MASK」画面の「2」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「ON」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ ON

選択している MASK ID ごとに、設定されている位置に色付きの半透明のマスク表示が表示されます。

```
        PRIVACY MASK

1.MASK ID        :1
2.MASK ON/OFF    :ON
  >LEFT          :00
   RIGHT         :23
   TOP           :00
   BOTTOM        :29


 RETURN
```

⑥ **[UP/DOWN] ボタンを押して、設定する項目を選ぶ。**
「LEFT」「RIGHT」「TOP」「BOTTOM」を選択します。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

LEFT ⇔ RIGHT ⇔ TOP ⇔ BOTTOM

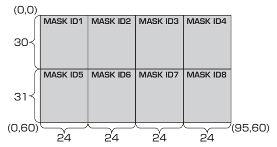
選択中は、項目の前にカーソル（>）が表示されます。

```
        PRIVACY MASK

1.MASK ID        :1
2.MASK ON/OFF    :ON
   LEFT          >00
   RIGHT         :23
   TOP           :00
```

⑦ **[SET] ボタンを押して、設定する項目を決定する。**
カーソルが設定値の前に移動します。

⑧ **[UP/DOWN] ボタンを押して設定値を変更する。**
設定値の変更を行った後、[SET] ボタンを押すとカーソルが設定項目の前に戻り、再び [UP/DOWN] ボタンで「LEFT」「RIGHT」「TOP」「BOTTOM」のいずれかを選択することができます。
設定が終わったら「RETURN」を選択し、[SET] ボタンを押すと、MENU 画面に戻るとともに、色付きの半透明のマスク表示が不透過のグレーのマスク表示に変わります。

各 MASK ID の初期表示位置



＜便利な使い方＞
8 ヶ所のマスクのそれぞれの初期表示位置は、上図のように別々になっています。
マスクを設定したい位置に近い ID をまず選んでから、表示位置の微調整をすると便利です。

画面にタイトルを付ける　979、959R、916R

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「9」を点滅させてから（VK-C959R は「8」、VK-C916R は「7」）[SET] ボタンを押し、「OTHERS」画面を表示させる。**

```
          OTHERS
1.CAMERA ID      :OFF
2.MIC            :OFF
3.FAILURE DET    :OFF
4.INTER/PROG     :INTER
5.DEFAULT        :PUSH SET



 RETURN
```

② **「OTHERS」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、「ON」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ ON

③ **設定項目が「ON」の状態で [SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「CAMERA ID」画面を表示させる。**

```
        CAMERA ID

1.ID             :PUSH SET

2.POSITION       :POSITION1



 RETURN
```

④ **「CAMERA ID」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、文字設定画面（アルファベット）を表示させる。**
[UP/DOWN] ボタンを押して設定したい文字を点滅させ、[SET] ボタンを押して文字を設定します。
設定した文字を取り消す場合は、[UP/DOWN] ボタンを押して「ERASE」を点滅させ、[SET] ボタンを押すと、最後に設定した文字から取り消されます。
※ 右下の「・・・・・・・・」の部分に設定した文字が表示されます。文字は 8 文字まで設定できます。

```
       ID(ALPHABET)

       0123456789
       :<>-.,/;'?
       ! ABCDEFGH
       IJKLMNOPQR
       STUVWXYZ
ERASE
カタカナ

RETURN          ........
```

⑤ **カタカナの文字を設定したいとき**
[UP/DOWN] ボタンを押して「カタカナ」を点滅させ、[SET] ボタンを押すと、右のように文字設定画面（カタカナ）が表示されます。

```
        ID(カタカナ)

  0123456789⓪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
  アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
  ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
  ルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデ
  ドバビブベボパピプペポァィェッャュョ  ・
ERASE
ALPHABET

RETURN          ........
```

⑥ **文字の表示位置を変更したいとき**
「CAMERA ID」画面の「2」が点滅している状態で [SET] ボタンを押すと、文字の表示位置を変更することができます。
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

POSITION1（初期値）→ POSITION2 → POSITION3
POSITION6 ← POSITION5 ← POSITION4

```
 POSI1     POSI2     POSI3







 POSI4     POSI5     POSI6
```

音声を取り込む　979、959R、916R

本機に内蔵されたマイクから取り込んだ音声を、駆動ユニット等から出力することができます。

① **各ユニットの AUDIO OUT 端子と、モニターまたは記録機器の音声入力端子を両端 US ピンの同軸ケーブルでつなぐ**

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「9」を点滅させてから（VK-C959R は「8」、VK-C916R は「7」）[SET] ボタンを押し、「OTHERS」画面を表示させる。**

```
          OTHERS
1.CAMERA ID      :OFF
2.MIC            :OFF
3.FAILURE DET    :OFF
4.INTER/PROG     :INTER
5.DEFAULT        :PUSH SET



 RETURN
```

③ **[UP/DOWN] ボタンを押して「OTHERS」画面の「2」を点滅させてから、[SET] ボタンを押し、設定値を変更する。**
「ON」　音声を取り込む
「OFF」　音声を取り込まない
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ ON

カメラの故障検知機能を使う　979、959R、916R

故障検知機能とは、日立製デジタルレコーダー（2005 年 9 月以降発売のモデル）との組合せにより、カメラ側の撮像素子やレンズに起因した故障（特に画面が白飛びする現象）が発生した場合に異常が発生していることをレコーダー側に発報し、ユーザーに知らせることで早期交換を促す機能です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「9」を点滅させてから（VK-C959R は「8」、VK-C916R は「7」）[SET] ボタンを押し、「OTHERS」画面を表示させる。**

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「OTHERS」画面の「3」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「ON」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

OFF（初期値）→ ON

```
          OTHERS
1.CAMERA ID      :OFF
2.MIC            :OFF
3.FAILURE DET    :OFF
4.INTER/PROG     :INTER
5.DEFAULT        :PUSH SET



 RETURN
```

映像出力方式を変更する　979

プログレッシブ出力に設定すると、日立製デジタルレコーダー（2005 年 9 月以降発売のモデル）との組合せにより解像度をアップさせることができます。
インターレース出力に設定すると、通常の映像出力になります。
また、プログレッシブ出力の基準を ODD にするか、EVEN にするか選択することができます。
詳しくは、接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「9」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「OTHERS」画面を表示させる。**

```
          OTHERS
1.CAMERA ID      :OFF
2.MIC            :OFF
3.FAILURE DET    :OFF
4.INTER/PROG     :INTER
5.DEFAULT        :PUSH SET



 RETURN
```

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「OTHERS」画面の「4」を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「PROG」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

INTER（初期値）→ PROG

③ **項目設定が「PROG」の状態で [SET] ボタンを続けて（1 秒以内）2 回押し、「ODD/EVEN」画面を表示させる。**

```
         ODD/EVEN
1.ODD/EVEN       :EVEN





 RETURN
```

④ **「ODD/EVEN」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、設定値を変更する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

EVEN（初期値）→ ODD

※ 日立製デジタルレコーダーと組み合わせる場合は「EVEN」に設定してください。

初期値に戻す　979、959R、916R

初期値（工場出荷時）の設定に戻すことができます。

① **[UP/DOWN] ボタンを押して「MENU」画面の「9」を点滅させてから（VK-C959R は「8」、VK-C916R は「7」）[SET] ボタンを押し、「OTHERS」画面を表示させる。**

```
          OTHERS
1.CAMERA ID      :OFF
2.MIC            :OFF
3.FAILURE DET    :OFF
4.INTER/PROG     :INTER
5.DEFAULT        :PUSH SET



 RETURN
```

② **[UP/DOWN] ボタンを押して「OTHERS」画面の「5」（VK-C959R、VK-C916R は「4」）を点滅させてから [SET] ボタンを押し、「DEFAULT」画面を表示させる。**

```
          DEFAULT
1.DEFAULT READ  :NO





 RETURN
```

③ **「DEFAULT」画面の「1」が点滅している状態で [SET] ボタンを押し、「OK」に設定する。**
ボタンを 1 回押すごとに切り換わります。

NO（初期値）→ OK

④ **[UP/DOWN] ボタンを押して「RETURN」を点滅させた後、[SET] ボタンを押す。**
設定値が初期値に戻り、「OTHERS」画面に戻ります。

ご注意
-「OTHERS」画面に戻っただけでは、設定した値は最終的に確定されません。
正しい操作で「MENU」画面に戻り、「END」を選択して設定を終了させることで最終的に確定されます。

故障かな…というときは

下記のことをお調べください。それでも正常に動作しない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
まったく映らない	• カメラに電源が供給されていない。	• カメラ駆動ユニットの電源を入れてください。	❹
	• カラーモニターの電源コードがコンセントに接続されていない。	• 電源コードの差し込みプラグをコンセントに接続してください。	—
	• 機器間を接続するプラグがはずれている。	• 機器間の接続を確認して、プラグがはずれているときは、接続してください。	❹
ピントが合わない	• フォーカスがずれている。	• ドームカバーを外し、フォーカスリングを回してピントを合わせてください。	❹～❺
色がおかしい	• 店内改装などにより、照明が変わった。	• 色調を調節してください。	❻
きれいに映らない	• ドームカバーにほこりが付いている。	• ドームカバーのほこりをブロアブラシを使って取り除いてください。	❸

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この監視用カラービデオカメラの補修用性能部品を、製造打切後 8 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…というときは」をお調べください。それでも正常に動作しない場合は、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	カラービデオカメラ
形　　名	VK-C979/VK-C959R/VK-C916R
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

	修理料金の仕組み
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出張代	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。
- 障害が発生した場合は保守員を派遣して、装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。